

ネイチャーポジティブな川づくりに向けて：生態系ネットワークの保全と再生  
中村 圭吾（土木研究所 流域水環境研究グループ）

ネイチャーポジティブ（自然再興）は2030年までに生物多様性の損失を反転させることを掲げた国際目標であり、気候変動対策と並ぶ新たな国際的課題として急速に関心が高まっています。この新たな課題を受けるかたちで国内外の政策・技術、さらに金融を含めて大きな変化が生じています。この講演では、これらネイチャーポジティブの潮流を紹介しつつ、環境の数値目標を計画に記載するなど、実践ではトップランナーと言われている川づくり（河川計画）の最前線を紹介します。あわせて、世界でもっとも野心的と言われている英国の生物多様性ネットゲイン政策についてもお話します。これは、建築や土木などの事業前後で環境（生物多様性）を保全するだけでなく10%増加しなければならない、という驚きのルールです。最後に、河川汽水域の技術資料である「河川汽水域における多自然川づくりの技術資料（試案）」を紹介しながら汽水域ならではの保全と再生について一緒に考えてみましょう。



図 定量的な生息場の環境目標を記載した多摩川の河川整備計画（案）の例※

※国土交通省・京浜河川事務所サイトより転載